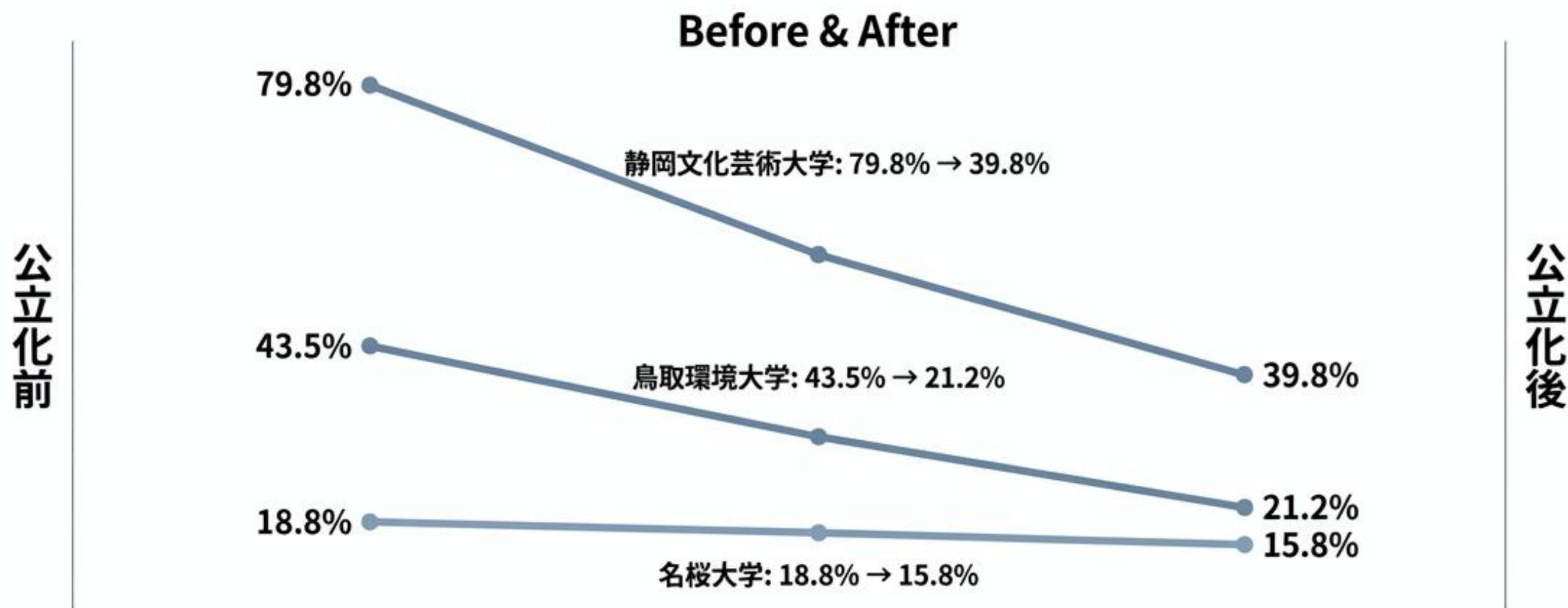
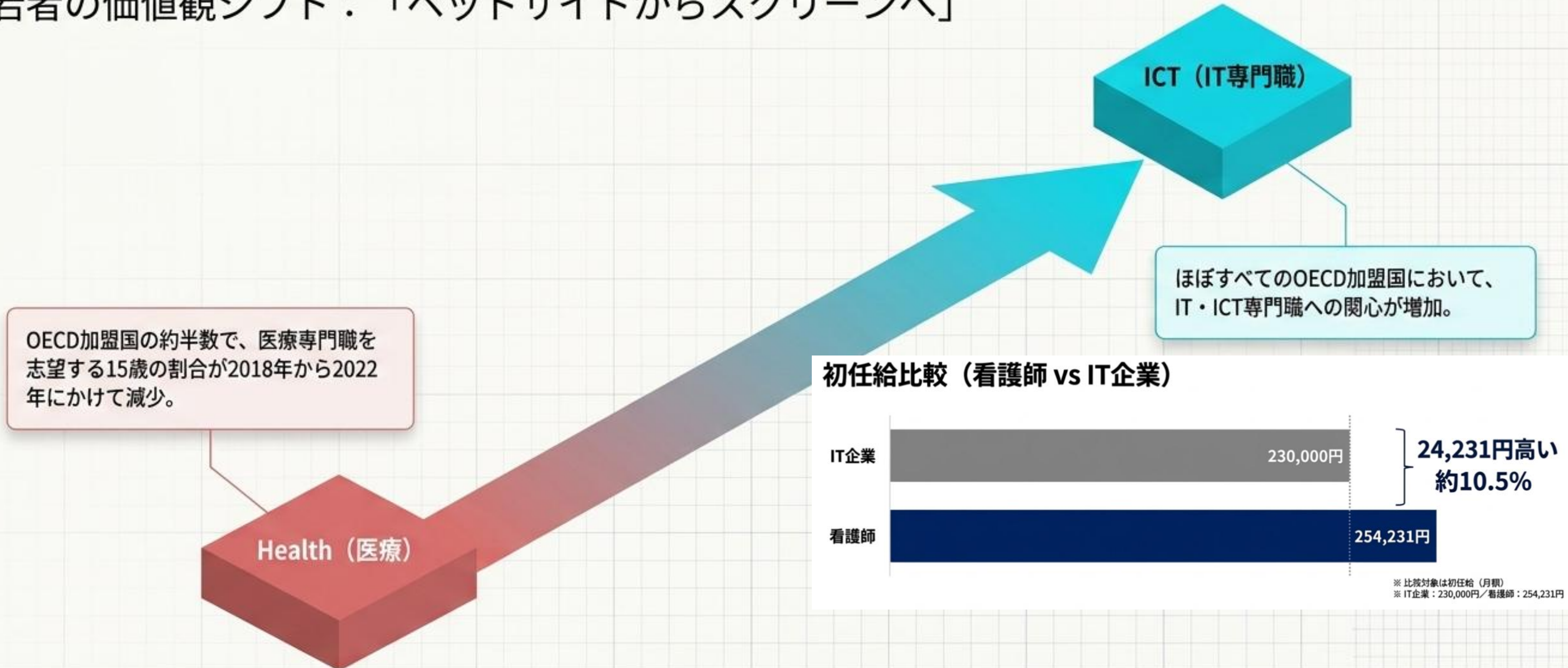


政策のジレンマ：私立大の「公立化」は地元離れを加速させるか？



Insight: 公立化により学費が下がり全国から優秀な学生が集まる反面、「**地域内入学者**」の割合は低下する。地元生のための受け皿が奪われる現象が発生。

若者の価値観シフト：「ベッドサイドからスクリーンへ」



若者は「他者を救済する仕事」への憧れよりも、「テクノロジーで構造的課題を解決する仕事」の柔軟性と将来性に惹きつけられている。

【学問系統】 女子の志望先として、「看護」や「食物・栄養学」などのシェアが低下

学問系統別 女子志望先シェア 3か年推移 <小分類>

(高校所在地：全国/偏差値オール/学校区分オール/性別：女子/27年度志望者数上位30系統)

女子は
どの系統を
志望しているか

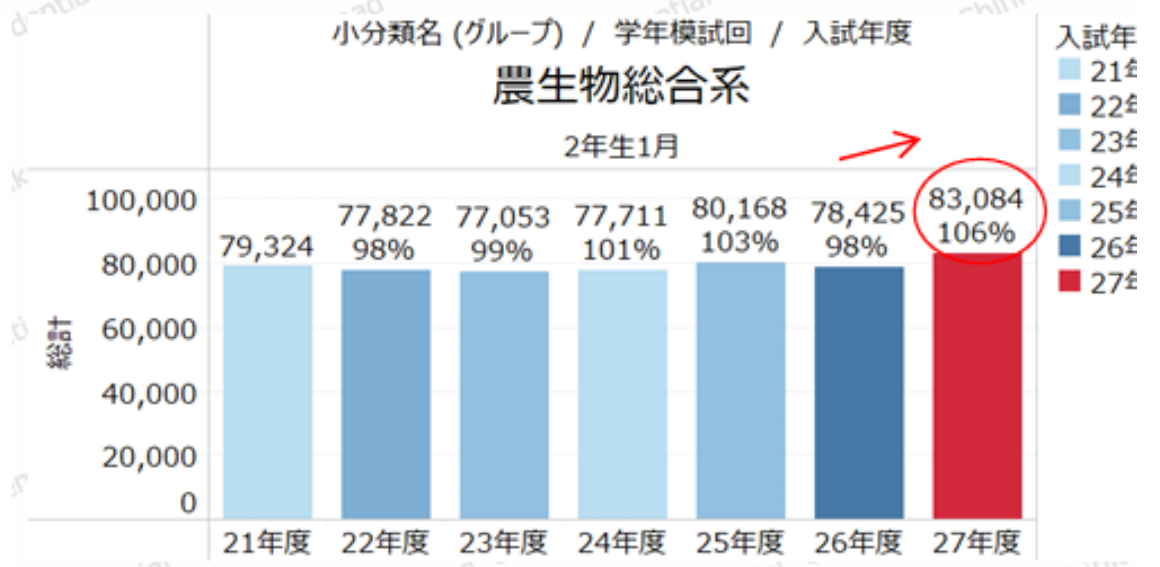
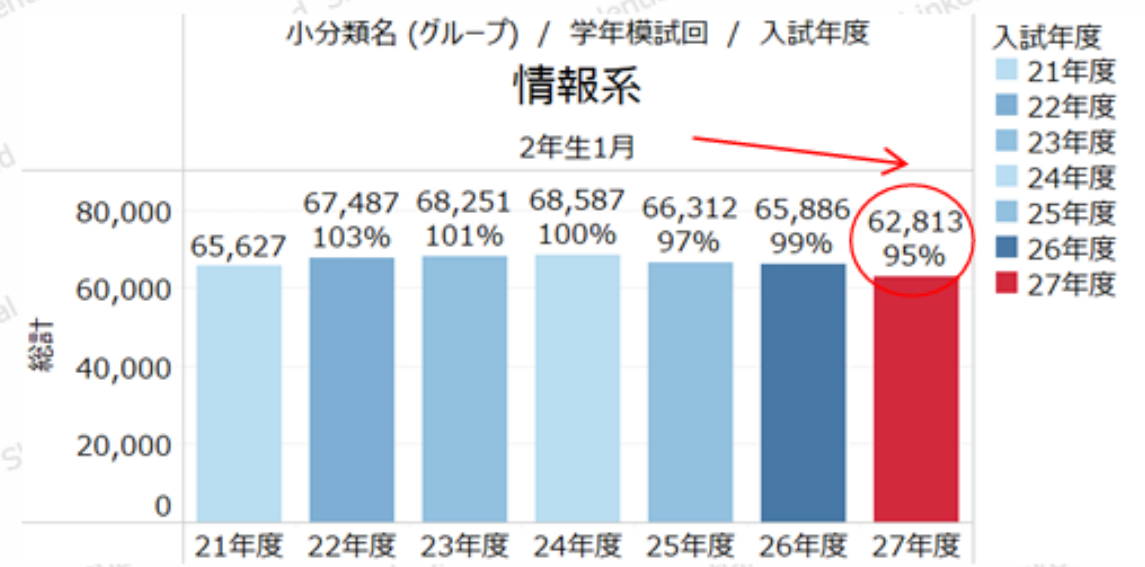


女子	合計		延べ志望者数			志望先系統のシェア				志望者数	
	2年生1月	学校区分オール	25年度入試生	26年度入試生	27年度入試生	25年度入試生	26年度入試生	27年度入試生	27-25差	26-25差	27-25差
	小分類名	大分類名									
1	看護	保健衛生	70,496	67,246	62,473	11.9%	11.4%	10.7%	-1.3%	-3,250	-8,023
2	経営学・商学	経済、経営、商学	33,608	36,343	36,957	5.7%	6.1%	6.3%	0.6%	2,735	3,349
3	経済学	経済、経営、商学	31,894	33,114	32,737	5.4%	5.6%	5.6%	0.2%	1,220	843
4	法学	法学	24,246	25,619	26,130	4.1%	4.3%	4.5%	0.4%	1,373	1,884
5	心理学	人文科学	24,365	25,438	24,563	4.1%	4.3%	4.2%	0.1%	1,073	198
6	文化学	人文科学	21,570	21,645	21,712	3.7%	3.7%	3.7%	0.1%	75	142
7	英米語	語学	20,034	19,663	19,486	3.4%	3.3%	3.3%	-0.1%	-371	-548
8	薬	薬	19,167	18,906	18,449	3.2%	3.2%	3.2%	-0.1%	-261	-718
9	食物・栄養学	生活科学	19,994	18,390	18,379	3.4%	3.1%	3.1%	-0.2%	-1,604	-1,615
10	小学校	教員養成、教育学	17,703	17,217	17,451	3.0%	2.9%	3.0%	0.0%	-486	-252
11	国際関係学	国際関係	17,195	16,893	16,870	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	-302	-325
12	社会学	社会学	12,111	12,127	12,377	2.1%	2.0%	2.1%	0.1%	16	266
13	建築・土木・環境工学	工	11,700	12,390	11,782	2.0%	2.1%	2.0%	0.0%	690	82
14	日本文学	人文科学	11,363	11,689	11,697	1.9%	2.0%	2.0%	0.1%	326	334
15	美術・デザイン	芸術学	11,691	11,716	11,417	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	25	-274
16	児童学	生活科学	12,334	11,456	11,385	2.1%	1.9%	1.9%	-0.1%	-878	-949
17	医	医	10,056	9,997	9,694	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	-59	-362
18	幼稚園	教員養成、教育学	9,493	9,260	9,238	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%	-233	-255
19	体育・健康科学	保健衛生	9,225	9,584	8,844	1.6%	1.6%	1.5%	0.0%	359	-381
20	外国文学	人文科学	9,188	8,945	8,812	1.6%	1.5%	1.5%	0.0%	-243	-376
21	理学療法	保健衛生	8,672	9,096	8,329	1.5%	1.5%	1.4%	0.0%	424	-343
22	医療技術	保健衛生	8,221	8,104	7,350	1.4%	1.4%	1.3%	-0.1%	-117	-871
23	社会福祉学	社会学	7,719	7,194	6,970	1.3%	1.2%	1.2%	-0.1%	-525	-749
24	総合科学	総合科学	6,497	6,211	6,724	1.1%	1.0%	1.1%	0.0%	-286	227
25	検査技術	保健衛生	6,601	6,945	6,715	1.1%	1.2%	1.1%	0.0%	344	114
26	農芸化学	農・水産	5,810	5,525	6,250	1.0%	0.9%	1.1%	0.1%	-285	440
27	哲学・倫理・宗教	人文科学	5,947	5,965	5,723	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	18	-224
28	生物工学	工	4,986	5,150	5,574	0.8%	0.9%	1.0%	0.1%	164	588
29	応用化学	工	4,654	5,367	5,514	0.8%	0.9%	0.9%	0.2%	713	860
30	放射線技術	保健衛生	5,776	5,713	5,303	1.0%	1.0%	0.9%	-0.1%	-63	-473

【学問系統】 情報系の志望者数は前年度を下回る。一方、農生物総合系は上回る

情報系/農生物総合系 志望動向 <全国>

(高校所在地：全国/偏差値オール//性別オール/学校区分：国公立大、私立大/学問系統：指定)

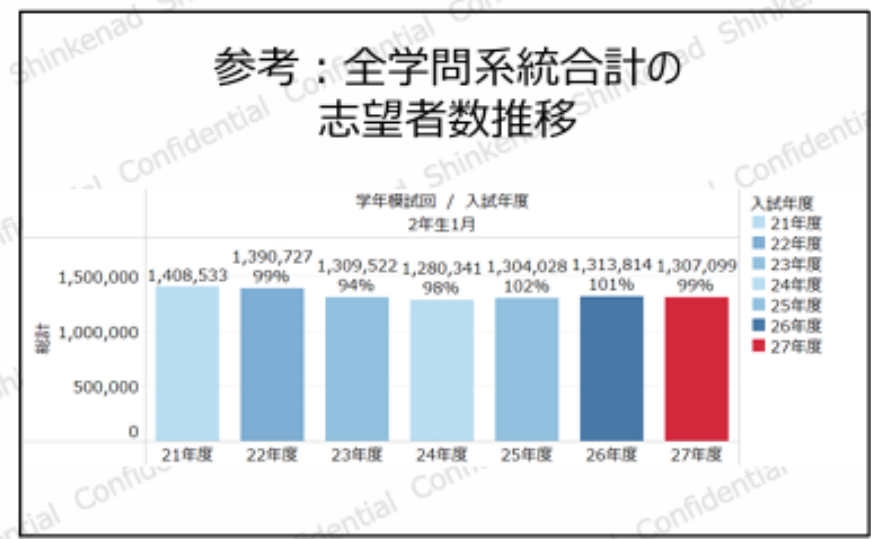


%は前年度比

情報系：情報工学、情報科学、総合情報学、経営情報学
 農生物総合系：農学（大分類）、生物学、生物工学、総合科学（小分類）

※総合科学（小分類）は、大分類の総合科学の中にある小分類の総合科学の意味で、環境などを含む

2025年度 進研模試
 高2生 ベネッセ総合学カテスト・1月



— 現在の大学を取り巻く状況 (2)

1億人の 未来図

日本の人口は2056年に1億人を割ります。企業の商品やサービス、行政など、私たちの暮らしのあらゆる分野に訪れる変化の未来図と処方箋を探ります

文系人材80万人 AI時代に「余剰」

文系学生が就職難になるかもしれない。足元では少子化と産業界の人手不足で学生優位の「売り手市場」だが、経済産業省は3月に2040年には大卒・院卒の文系人材が約80万人余るとの推計を出した。人工知能(AI)やロボットの普及で理系人材は不足が見込まれるが、文系は不要になるのだろうか。

期待値採用から転換
不足する成長分野の人材確保に向けて、新卒を採用する企業は採用手法を見直している。学歴からポテンシャルを測り学生を囲い込む一括採用から、特定のスキルに強みを持つ学生の職

「これ以上採用につながらない学問を続けても意味が無い」。京都大学で哲学を学ぶ3年生の男子学生は昨秋、スキルを重視する職種の採用が進む環境に大学院進学を諦めた。文部科学省の学校基本調査によると、足元の18歳人口は110万人前後とピークだった92年の約半数ほどだ。40年には80万人台まで減るとの推計もある。企業は貴重な若手人材確保に初任給を引き上げるなど待遇を改善して採用競争を激化する。それでも事務職が減る文系を取り巻く今後の環境は厳しい。大学進学率が高まるなか、経産省が3月に公表した推計では40年に文系は大卒で61万人、院卒で15万人が余るとされる。理系は大卒が96万人、院卒が27万人の不足とされ、明暗が分かれる。AIやロボットを使って働く人材は大卒文系も135万人の不足とされ、大卒理系の108万人の不足よりも多い。文系は必要だが、いかにAIなどの最先端産業で活躍できる能力を習得するかが「同僚はロボット」時代の力となる。

デジタルトランスフォーメーション(DX)やデータサイエンスなど理系的スキルに引き合いが強い。就活生の内定獲得率も近年は理系が大幅に先行する。文理の格差は待遇にも現れる。就職・転職者向けサイトを運営するオープンワークの調査では、30歳時点の平均年収は文系は545万円、理系より74万円低かった。営業や技術職、金融専門職など主な職種でも軒並み文系が低い。

こうした状況で、文系を選ぶ生徒は減少傾向にある。河合塾

減る事務職、企業は理系スキル



学習院大学では文系含む全学部生がAIの使い方や歴史を学ぶ授業がある

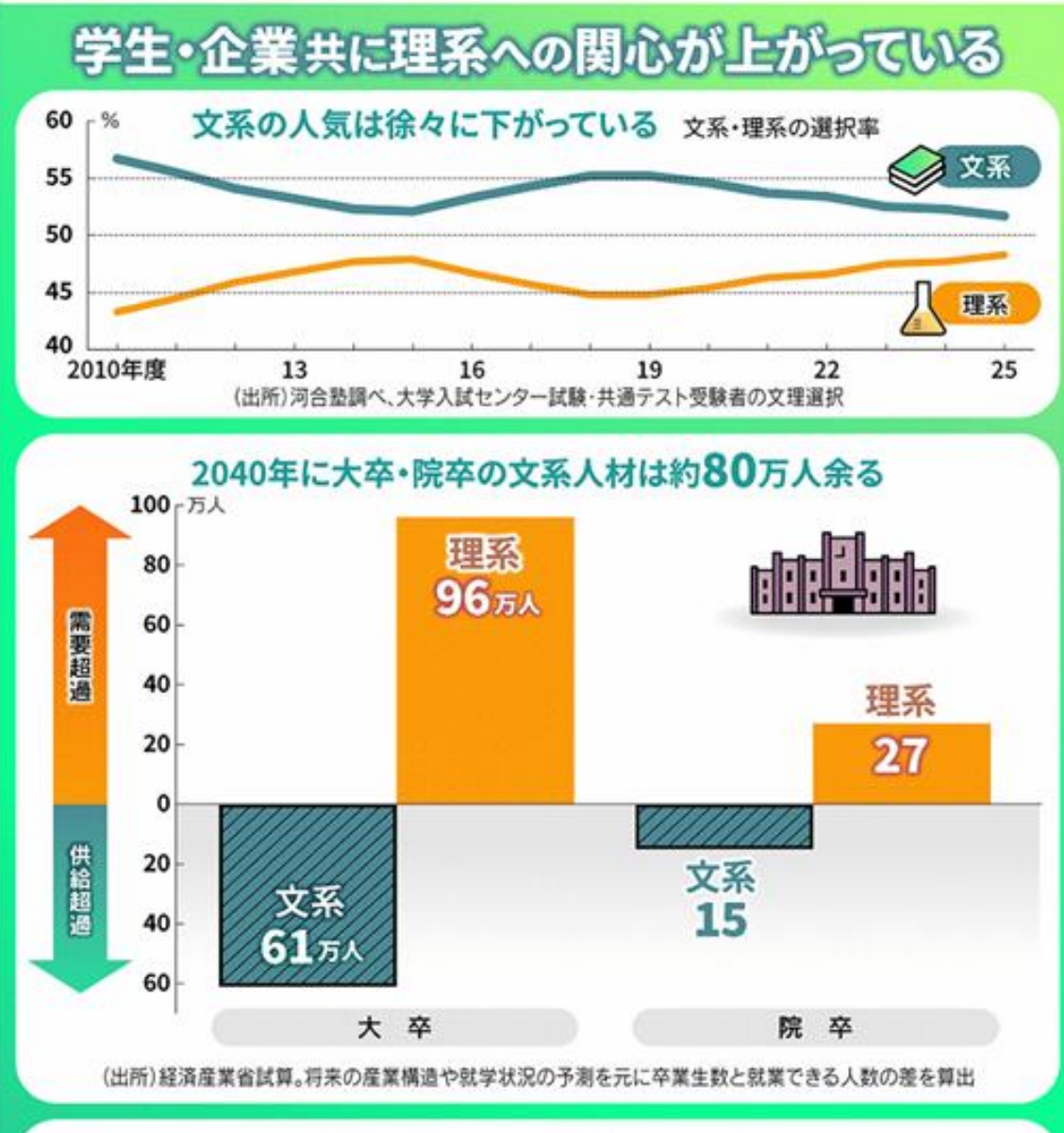
政府が21年に始めたデータ・AI人材育成の取り組みを支援する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」を受け、大学では文理融合の教育が進む。理系的知見を使うデータサイエンスは文系学生にも必須の学びと据えている。

「AIをとっても能力の高い人間だと思って付き合ってください

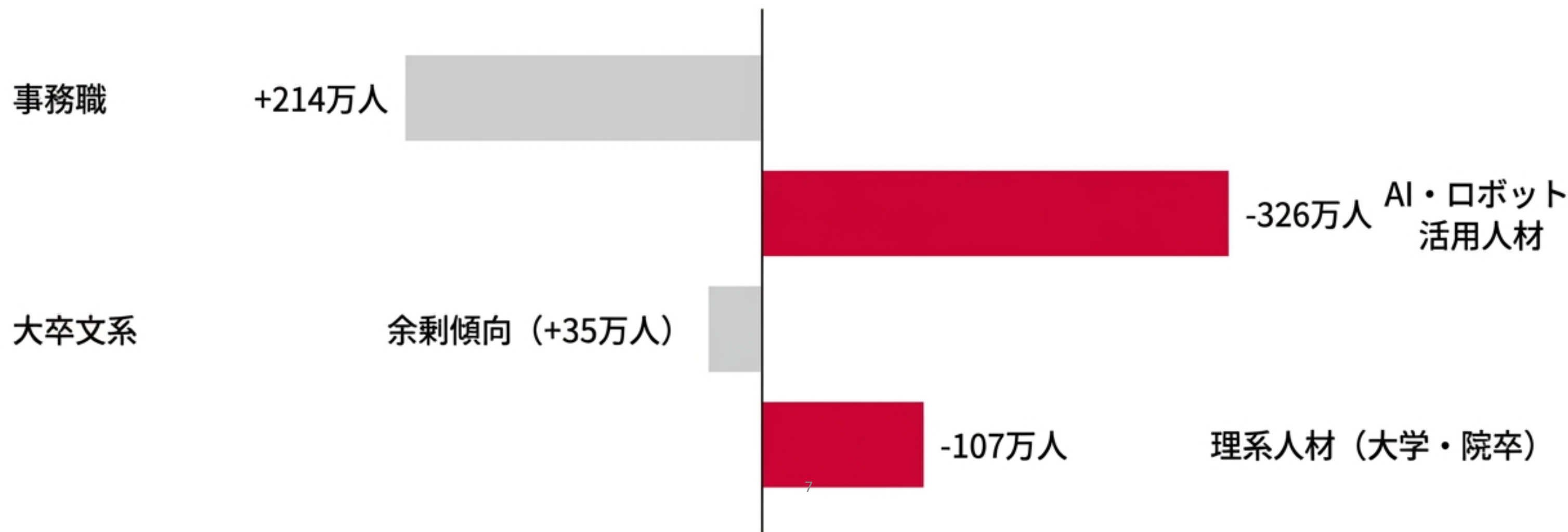
教育研究開発本部の近藤治典研究員は「文理選択の志向は就職環境に連動する。先行き不透明な社会情勢で近年は仕事に直結しやすい理系が増えている」と指摘する。

政府が21年に始めたデータ・AI人材育成の取り組みを支援する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」を受け、大学では文理融合の教育が進む。理系的知見を使うデータサイエンスは文系学生にも必須の学びと据えている。

自由な学びで得る仮説力大事に



2040年の労働市場：構造的崩壊の危機



既存の教育パイプラインは、未来の需要から完全に乖離している。

AI時代に変化する仕事：「作業」の代替と「価値」のシフト



下層のスキル（単純なプログラミング等）はAIに水没します。
我々が育成すべきは、水没しない上層の「課題解決レイヤー」を担う人材です。

■ 年内入試の拡充

現代の大学入試現場では、ペーパーテストを課す「一般入試」の利用者割合が半数を割り込んでいます。

いまや過半数以上が「学校推薦型」や「総合型選抜（旧AO入試）」といった、いわゆる「年内入試」で進学先を決める時代になりました。

進学先が決定づける「地域回帰」の残酷な現実

地元大学へ進学した学生の
学の「地元就職希望率」

[69.4%]

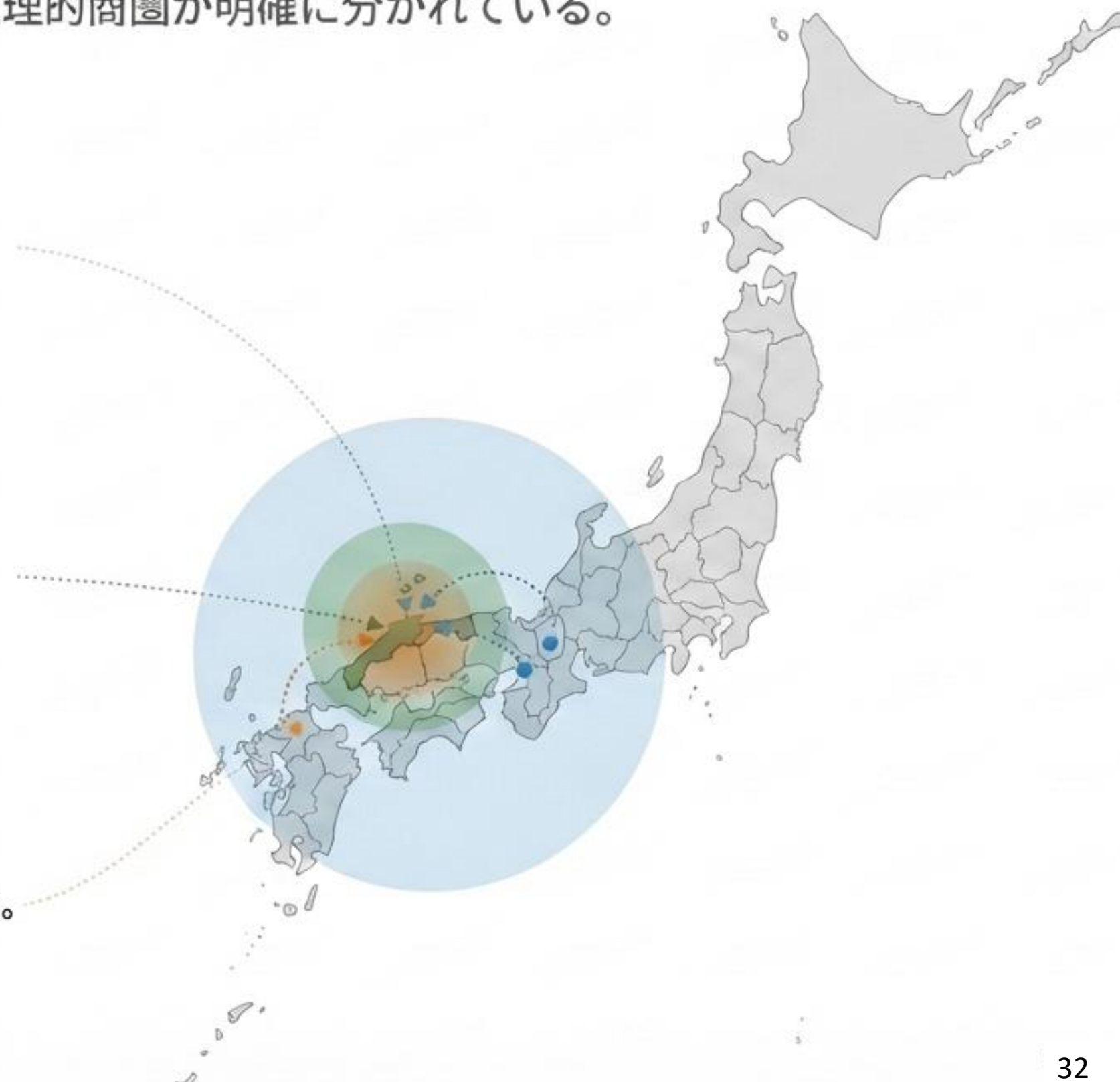
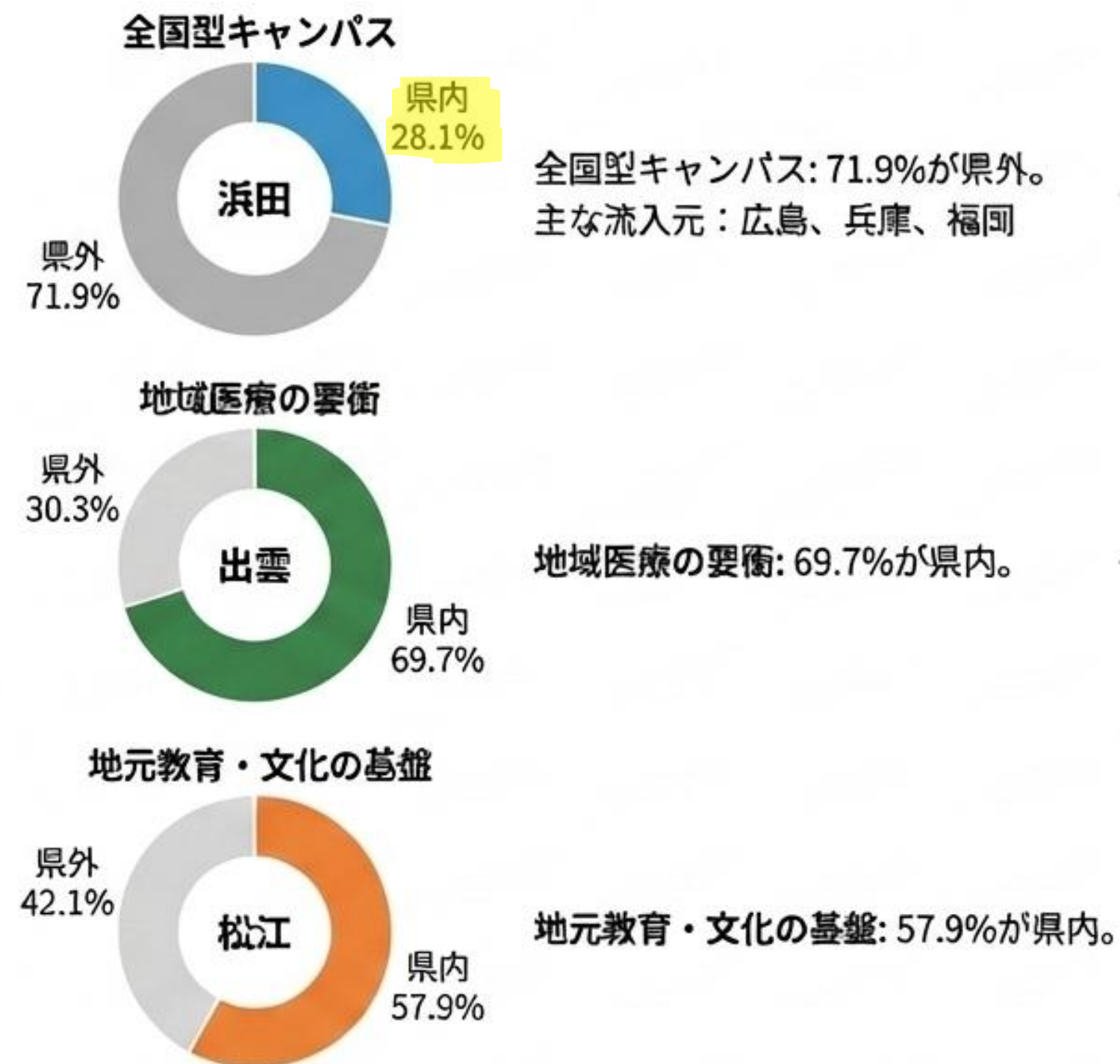
地元外の大学へ進学した
学生の「地元就職希望率」

[33.4%]

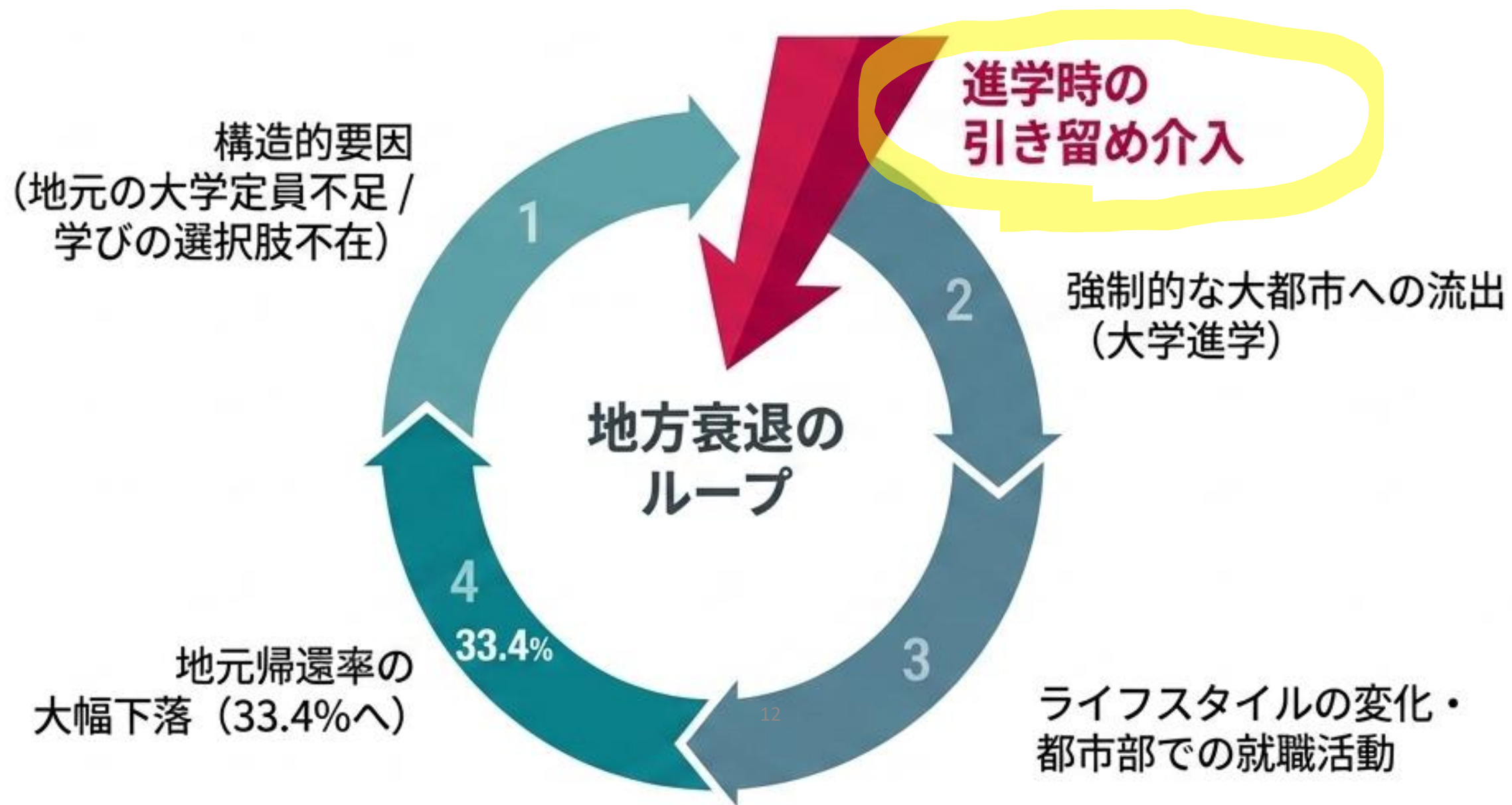
地域の未来を担う人材を確保するためには、就職時ではなく
「大学進学時」に地元へ引き留める仕組みが不可欠。

学生の出身地分布：広域からの集客と地域定着の二面性

キャンパスの学問領域により、ターゲットとなる地理的商圏が明確に分かれている。

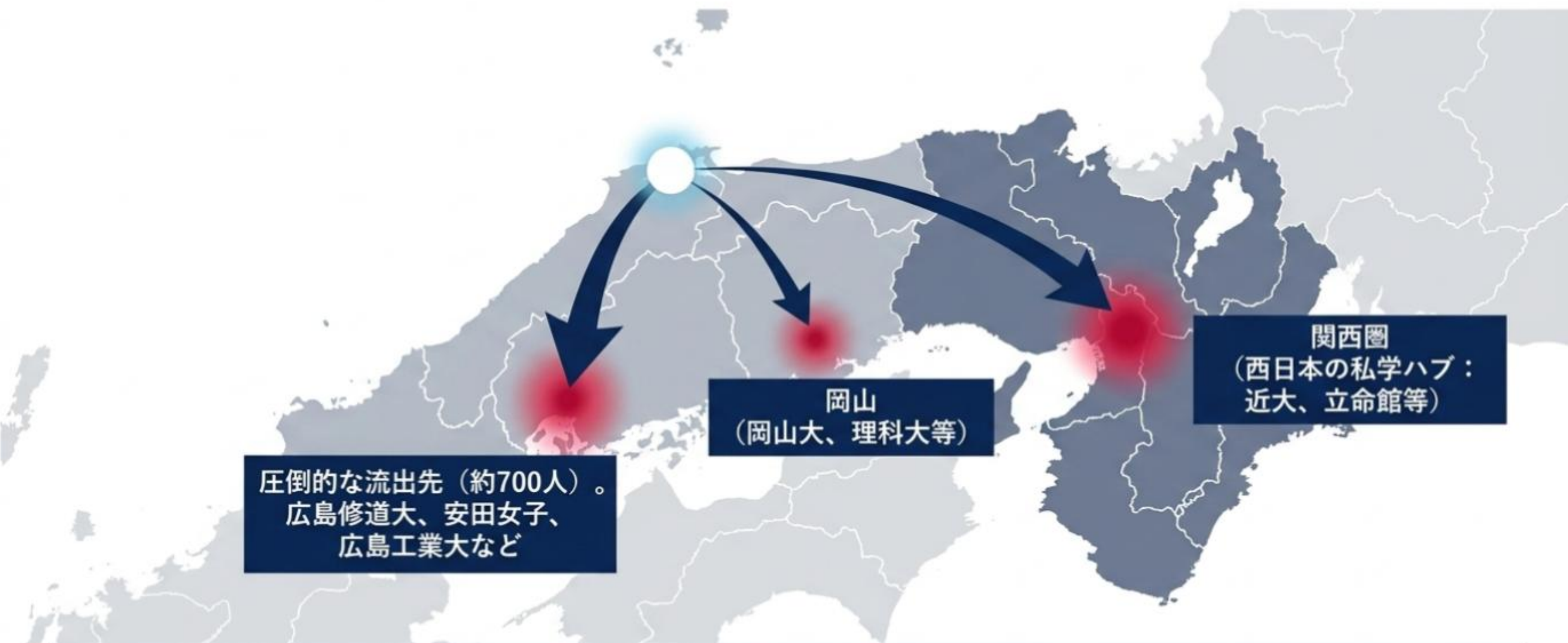


結論：進学時こそが「地方創生」のラスト・チャンス



人口減少時代において、大学進学時の流出を防ぐ「高等教育機関の魅力向上・キャパシティ拡大」と、卒業後の「魅力ある受け皿作り」の双方向からのアプローチが、地域の存続を左右する。

島根の若者の行方：「中四国・関西圏」という巨大な引力

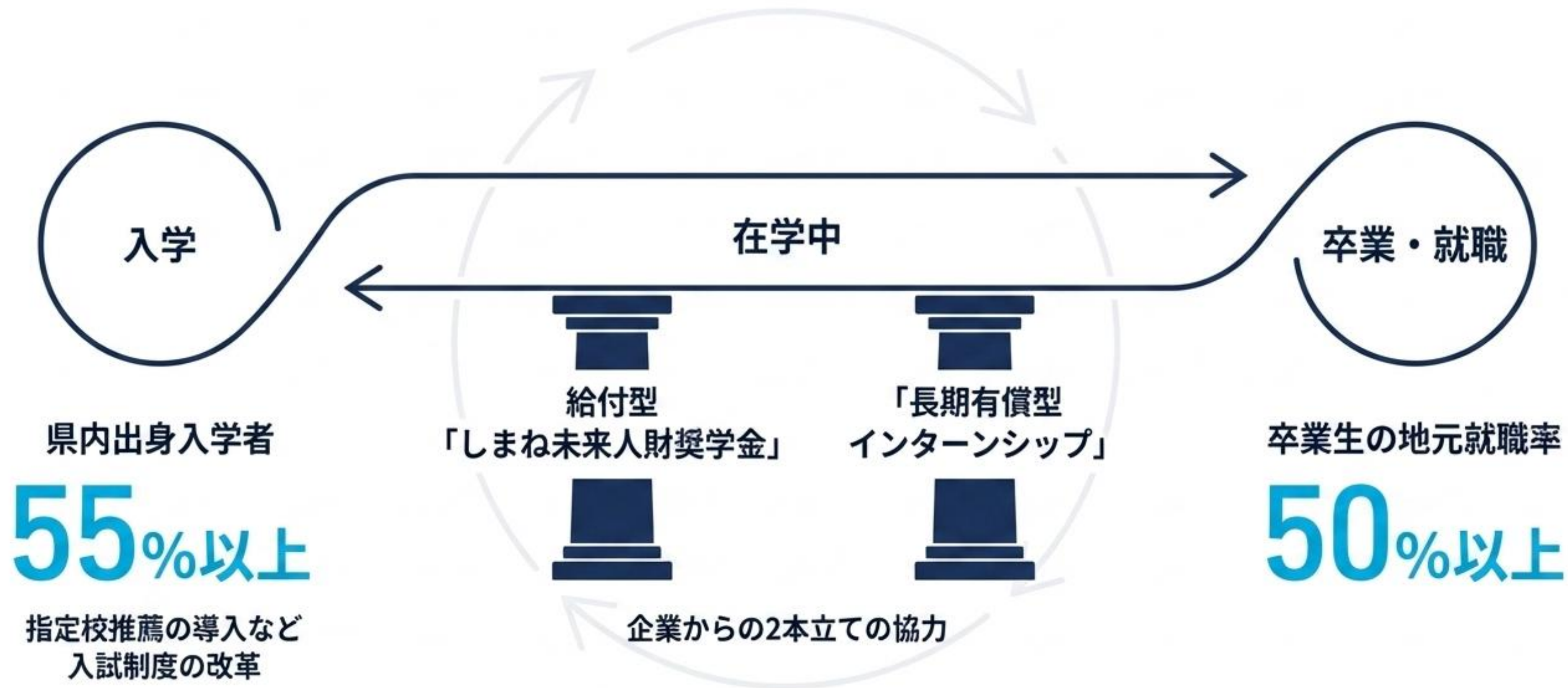


[Insight] 東京への流出は相対的に少数派です。
島根の若者は、隣接する巨大な私学ハブ（広島・関西）へと吸収されています。

島根県立大学の現在地

第4期中期計画 初年度・認証評価受審年度

地域とつながる教育の好循環



若者を都市へ駆り立てる「2つの欠乏」

経済・キャリアの欠乏

志望する企業がない

38.1%

給料が安そうだから

23.1%

大手企業がないから

21.7%

生活・文化の欠乏

都会の方が便利だから

38.3%

実家に住みたくない／離れたたい

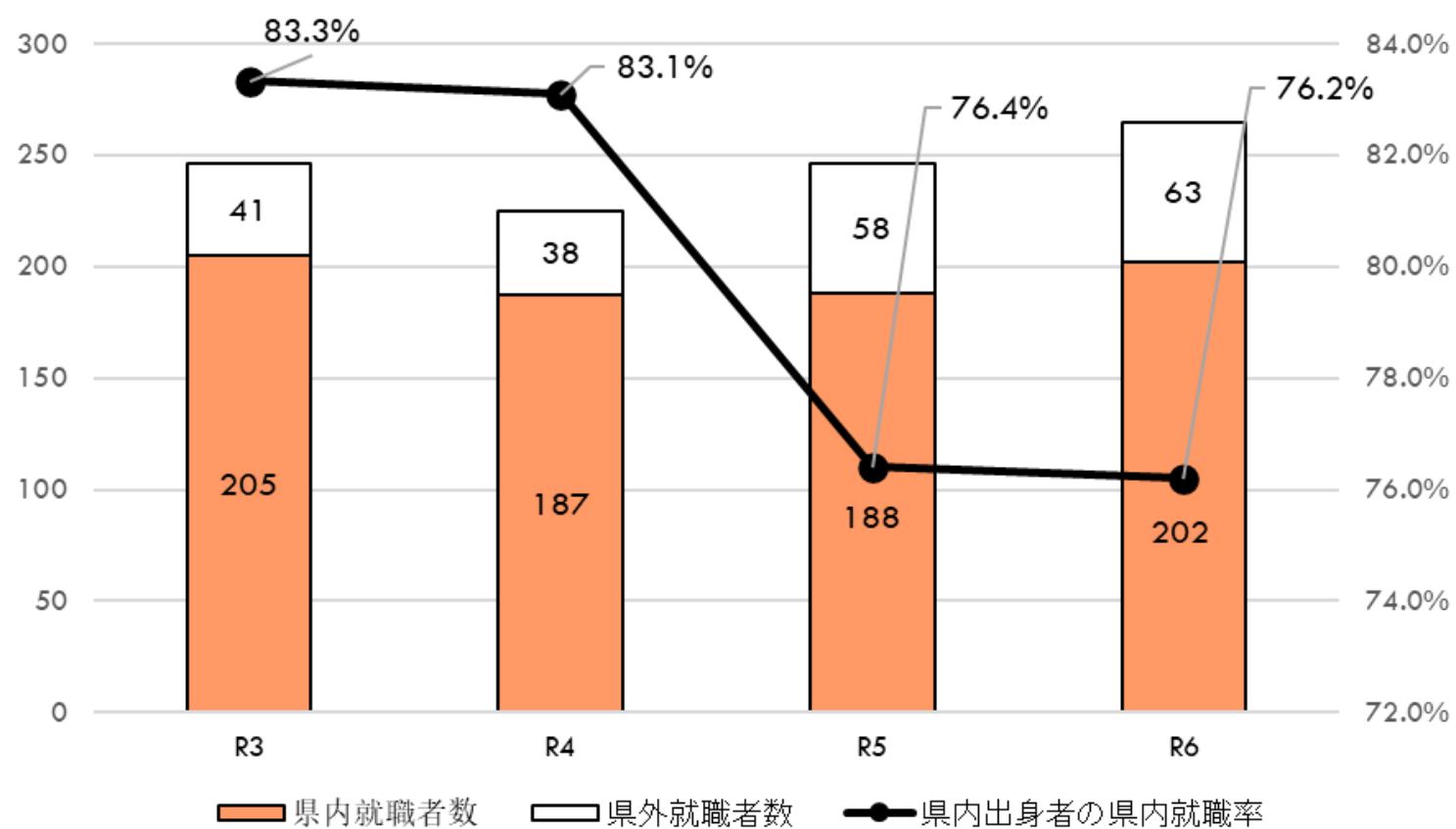
29.0%

理由は「仕事」と「生活」に真っ二つに分かれる。
どちらか一方の解決だけでは不十分である。

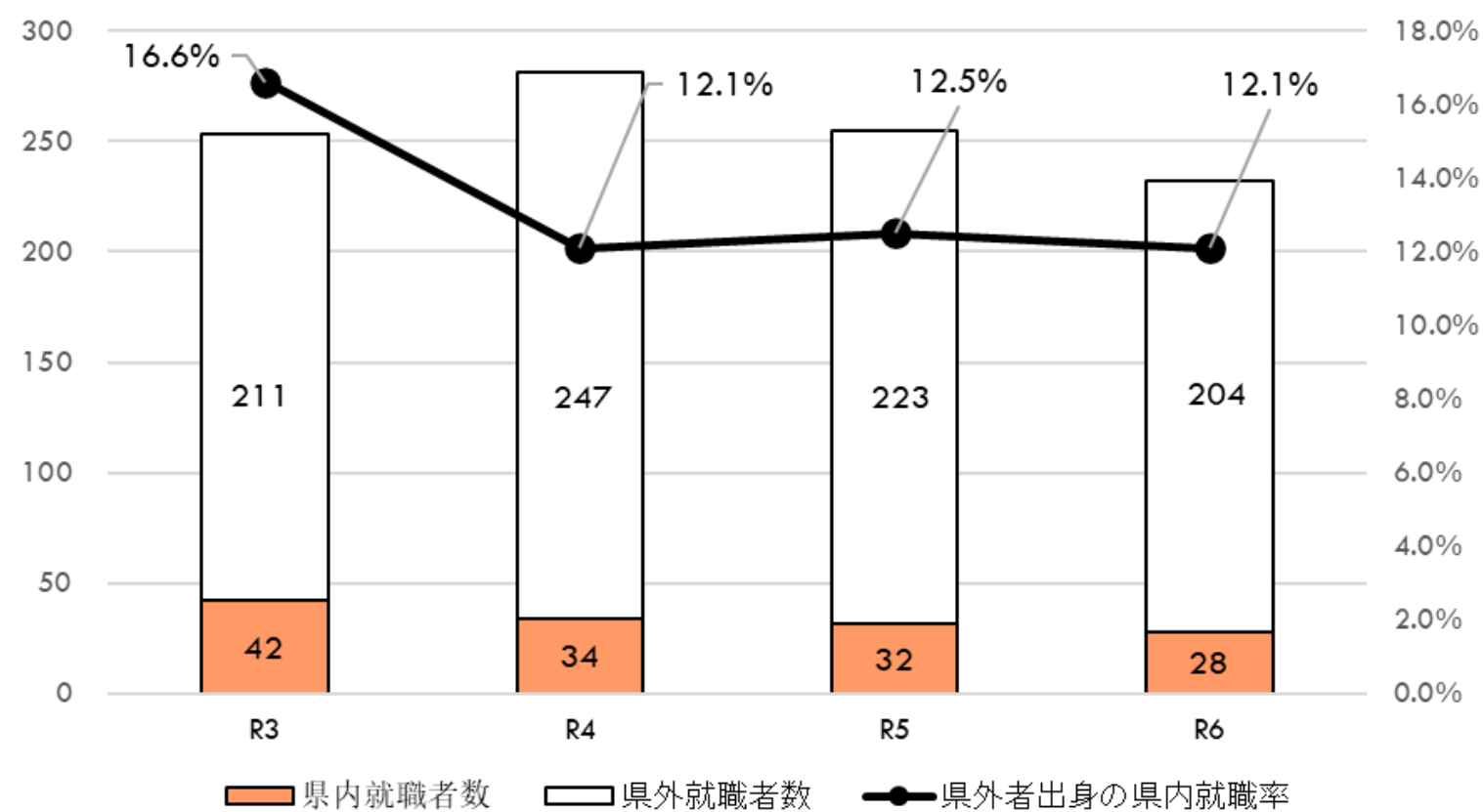
県内就職支援=県内就職率50%目標

- R5年度県内就職者220名 =前年度から1人減
 - ▶ **県内就職率43.9%** (R5年度卒業生)
- R6年度県内就職者230名 =前年度から10人増
 - ▶ **県内就職率46.3%** (R6年度卒業生)

県内出身者の県内就職比率



県外出身者の県内就職比率



○ 給付型奨学金 「しまね未来人財奨学金」 の創設 (R3年度)

=TSKグループ、島根電工、カナツ技建工業、山陰ケーブルビジョンの寄付からスタート

【給付金額】 25万円/年

【給付実績】

	浜田C	出雲C	松江C	計
R3年度	4	2	2	8
R4年度	9	5	8	22
R5年度	10	4	11	25
R6年度	11	4	9	24
R7年度	11	4	11	26

○ 長期実践型キャリア教育の実施

1. 株式会社ジュンテンドー
2. 一般社団法人イワミノチカラ
3. NPO法人てごねっと石見
4. 島根電工株式会社
5. トップ金属工業株式会社
6. カナツ技建工業株式会社
7. 安来市役所
8. ごうつ企業ブランディングインターン

○ 県内すべての商工会議所・商工会、18市町村と連携協定締結 = 県内就職の基盤づくり

学部別プロフィール：2つの異なるキャリア・ベクトル（2025年度実績）

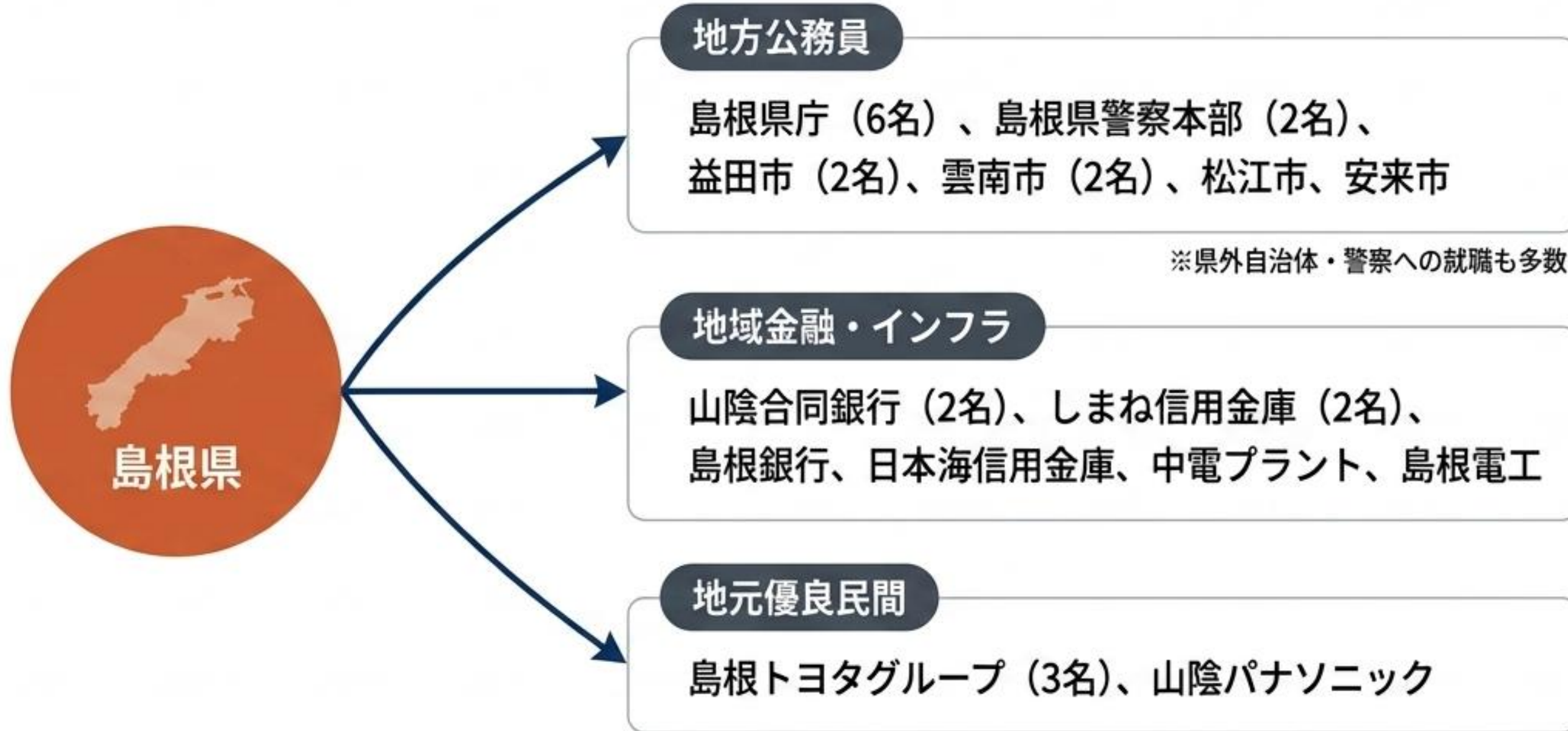
国際関係学部

就職率
100.0% (73名/73名)
県内就職率
8.2% (県外志向・全国展開型)
主な進路ドメイン
航空・運輸、ホテル・観光、IT・通信など、 多様な民間サービス業

地域政策学部

就職率
96.9% (126名/130名)
県内就職率
35.7% (地元志向・地域貢献型)
主な進路ドメイン
地方自治体（県庁・市役所）、警察、 地域金融機関、地元優良企業

一方は全国の多様な産業へ展開し、もう一方は地域のインフラと経済を支える。
浜田キャンパスは、この2つの強力なエンジンで構成されています。



公務員および金融機関への就職が顕著であり、
地域の行政と経済基盤を直接的に支えるキャリアパスが確立されています。

国際関係学部：就職率100%が示す、全国区の産業競争力

驚異の就職決定率 100.0%
(73名全員内定 / 県外就職率 91.8%)



航空・運輸

全日本空輸 (ANA)
西日本鉄道
両備ホールディングス
石見エアサービス



宿泊・観光・サービス

アパホテル
杉乃井ホテル&リゾート
イオンコンパス
JICA海外協力隊



IT・情報通信

アソシエ
データスタジアム
オークネット

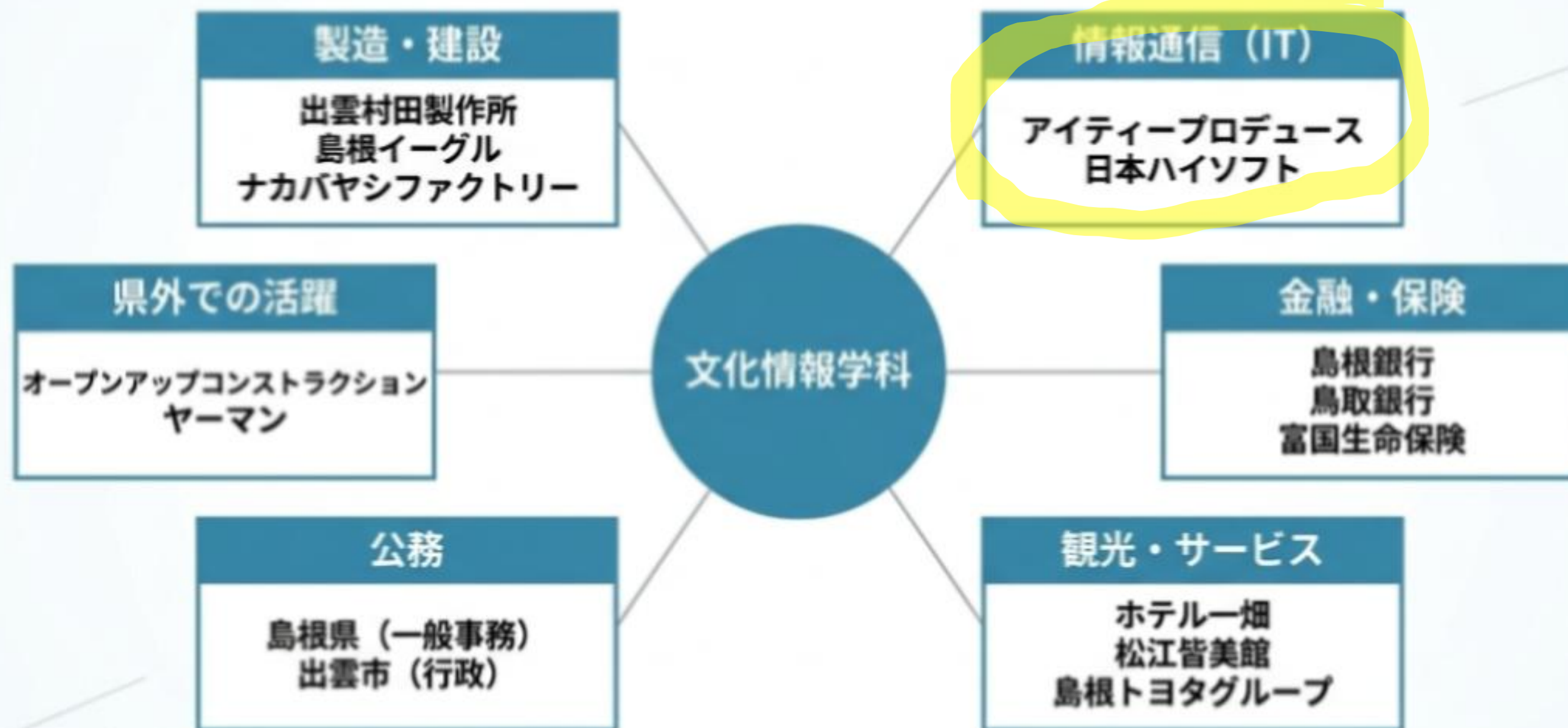


特筆すべき実績

日本銀行 (島根勤務)
静岡銀行

語学や国際感覚を活かし、ホスピタリティ産業や広域ネットワークを持つインフラ企業へ数多く進出。全国市場で戦える高い競争力を証明しています。

【文化情報学科】情報通信から金融、製造、公務員まで。徹底したITスキルと文化・教養の学びが、多様な業界で活躍できる汎用性の高い人材を生み出しています。



事務職・専門職として、あらゆる基幹業務へスムーズに適応できる高い汎用性